

ALA・米国図書館研修2018

(公開用スライド)



丸善雄松堂株式会社 図書館サービス事業部 藤原由季

発表の流れ



- **研修行程**
- **ALA年次総会とは**
- **2018年のALA総会**
- **特色のあった訪問先**
- **今後の図書館のトレンド**

研修行程



6月23日（土）	移動 ニューオリンズ美術館、懇親会
6月24日（日）	ALA年次総会
6月25日（月）	ローザ・F・ケラー図書館 ニューオリンズ公共図書館
6月26日（火）	ロヨラ大学図書館 テュレーン大学図書館
6月27日（水）	ヒューストン大学図書館 NASAセンター
6月28日（木）	ロンスターカレッジ図書館 ライス大学図書館 ヒューストン公共図書館TECHLink
6月29日（金）	移動
6月30日（土）	帰国

ALA年次総会とは



■ アメリカ図書館協会 (American Library Association, ALA) は世界最古にして最大の図書館協会

- ▶ 1879年創立

- ▶ 構成員： **57,866名** (2018年)

(http://www.ala.org/membership/membershipstats_files/annual_memb_stats)

■ 年次総会には全米の図書館関係者が集まります

- ▶ 有料のイベント

- ▶ 約18,000名の参加者 (有料で参加する人の数)

- ▶ 所属する図書館の購入権限に

何らかの関係のある来場者の割合・・・**82%** (2013年)

2018年のALA総会



12,423
Attendees

5,176
Exhibitors

1,240
Sessions

197
Poster Sessions

ALA 2018 Annual Conference webサイト <https://2018.alaannual.org/>

2018年のALA総会

 **ALA ANNUAL** *New Orleans*
CONFERENCE & EXHIBITION JUNE 21-26, 2018



Michelle Obama and Carla Hayden at ALA/ Photo by Terry Ballard



ALA 2018 2nd day/ Photo by Terry Ballard



ALA 2018 2nd day/ Photo by Terry Ballard

2018年のALA総会



ALA研修では

- **展示会場内ツアー/自由見学**
 - ▶ 通訳と展示会場内を見学
- **セッション参加（任意）**
- **特別フォーラム**
 - ▶ 研修事務局が組み立てる、参加者限定の通訳付きフォーラム
 - ▶ のちほどご紹介します

特色のあった訪問先



1

大学図書館と公共図書館が複合した
ジョイントライブラリー

2

テクノロジーへの平等なアクセスを
保証する図書館

大学図書館と公共図書館が複合したジョイントライブラリー



ローンスターカレッジ (<http://www.lonestar.edu/library/cyfair.htm>)

- ヒューストンエリアで最大規模の高等教育機関で、アメリカ国内でも急成長しているコミュニティ・カレッジの一つ
 - ▶ コミュニティ・カレッジとは、公立の2年制大学で、地域(=コミュニティ)の人に、できるだけ安価で大学教育と職業訓練を提供する教育機関のこと
- カレッジには6つのキャンパスがあり、2017年には10代から50代以上の約90,000人が在籍
 - ▶ 卒業生の多くは、テキサスA&M大学やヒューストン大学へ編入している

大学図書館と公共図書館が複合したジョイントライブラリー



ローンスターカレッジ (<http://www.lonestar.edu/library/cyfair.htm>)

■ 図書館は、ハリス郡公共図書館と大学図書館が複合した「ジョイントライブラリー」

- ▶ もともと地域が持っていた土地に大学をつくる際に、条件として図書館を公共にひらくよう求められたことがきっかけ
- ▶ ほかに国内約十か所で同様の取り組みがある

■ 職員の雇用は大学だが、運営費は公共図書館が負担 施設管理費は大学で出している 資料は内容によって負担する部門が決まる

関連文献：

Gunnels, C. B., Green. S. E. & Butler P. M.(2012). *Joint libraries : models that work*. Chicago: American Library Association.









大学図書館と公共図書館が複合したジョイントライブラリー



■ 複合したことによるメリット

- ▶ コレクション規模が大きくなる
- ▶ 資料の種類が多様化する
- ▶ 予算の出所が2つあることで、お互いにサポートしあえる
- ▶ **地域の児童が、大学生の様子を見ながら成長できる**
場になっている

テクノロジーへの平等なアクセスを保証する図書館



その① : Best Buy Teen Tech Center

(<http://www.nolalibrary.org/page/268/best-buy-teen-tech-center>)

■ ニューオリンズ公共図書館内の施設

▶ 家電量販店BestBuyとMITメディアラボのクラブハウスネットワークの連携

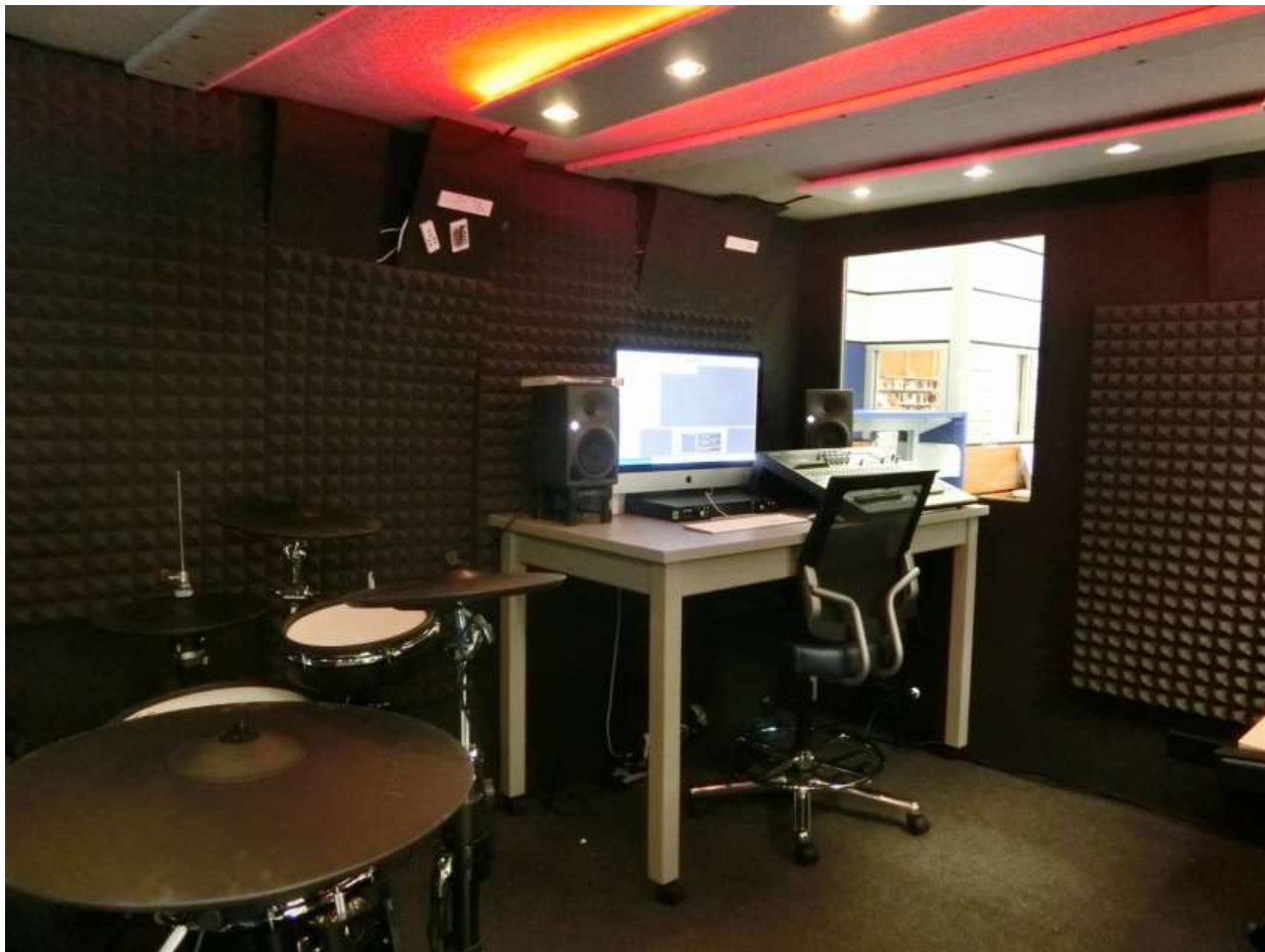
■ コンテンツを消費するだけでなく自ら作成するための支援を目的としている

▶ コンセプトは、「やりたいことができる場所、失敗しても良い場所、自分を表現できる安全な場所を提供すること」

■ 機器

タッチスクリーン式PC13台、Mac5台／3Dプリンター／スタジオ／オーディオミキサー／ミシン／VR／グリーンスクリーン／アイロンビーズ／ラズベリーパイ／LEGO など







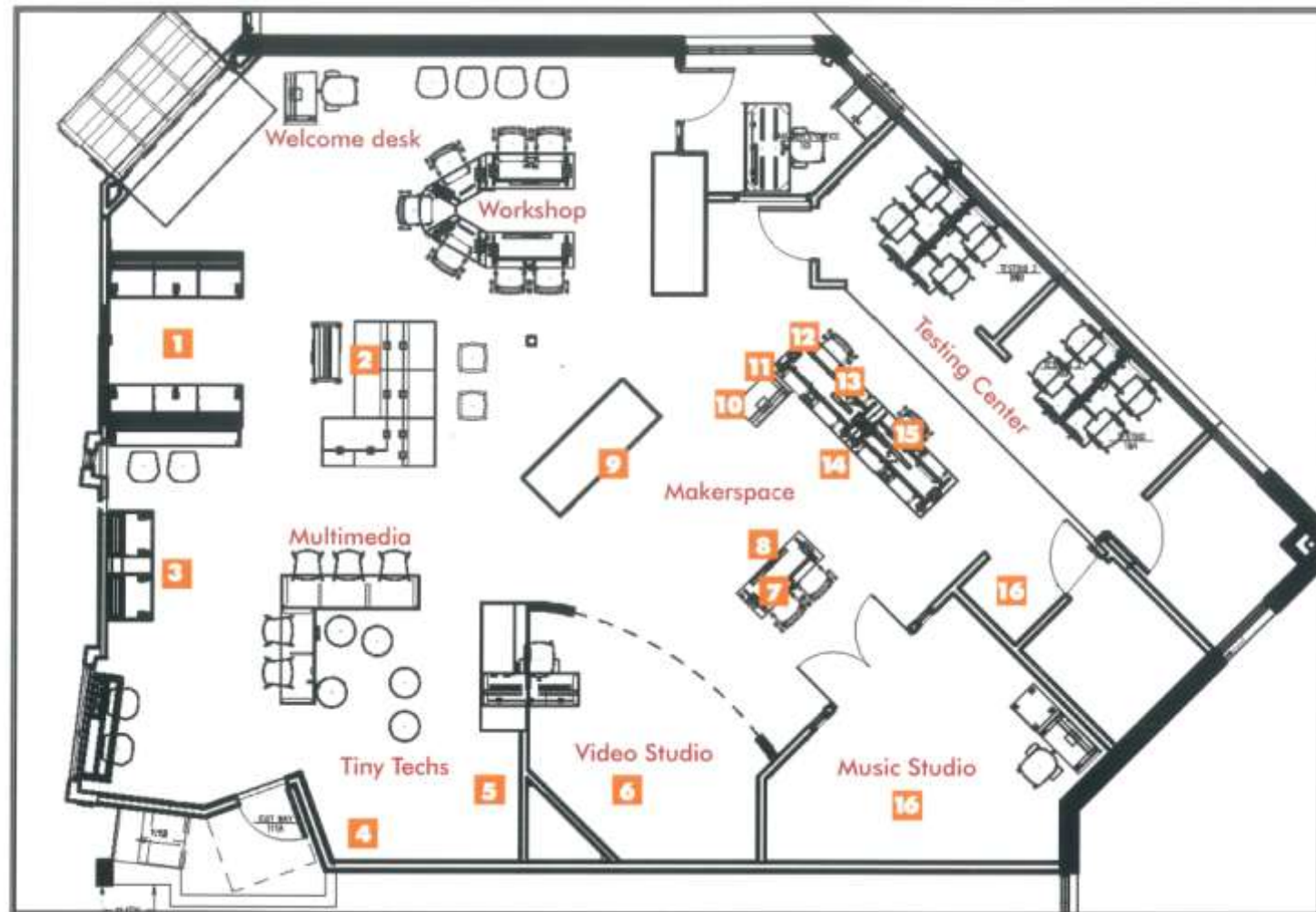
テクノロジーへの平等なアクセスを保証する図書館



その②：ヒューストン公共図書館TECHLink

(<http://houstonlibrary.org/techlink>)

- 分館Scenic Woods Regional Libraryに新設された
- 創造性、自己表現、コラボレーションに焦点を当てた学習空間
 - ▶ 音楽、映像、コーディング、グラフィックデザインの最先端のテクノロジーにふれることができる
- 図書館は今後も同様の空間を増やしていく予定
 - ▶ 債券を発行し、125億円を確保。TECHLinkはほかに16か所建設予定で、1か所あたり約1億円ほどかかる。
- 設備
 - 3Dプリンター／刺繍マシン／グラフィックデザイン、アニメーション用ソフトウェア
 - 映像編集スタジオ／オーディオミキサー／3Dスキャナー など



TECH LINK Scenic Woods Service Areas and Technologies

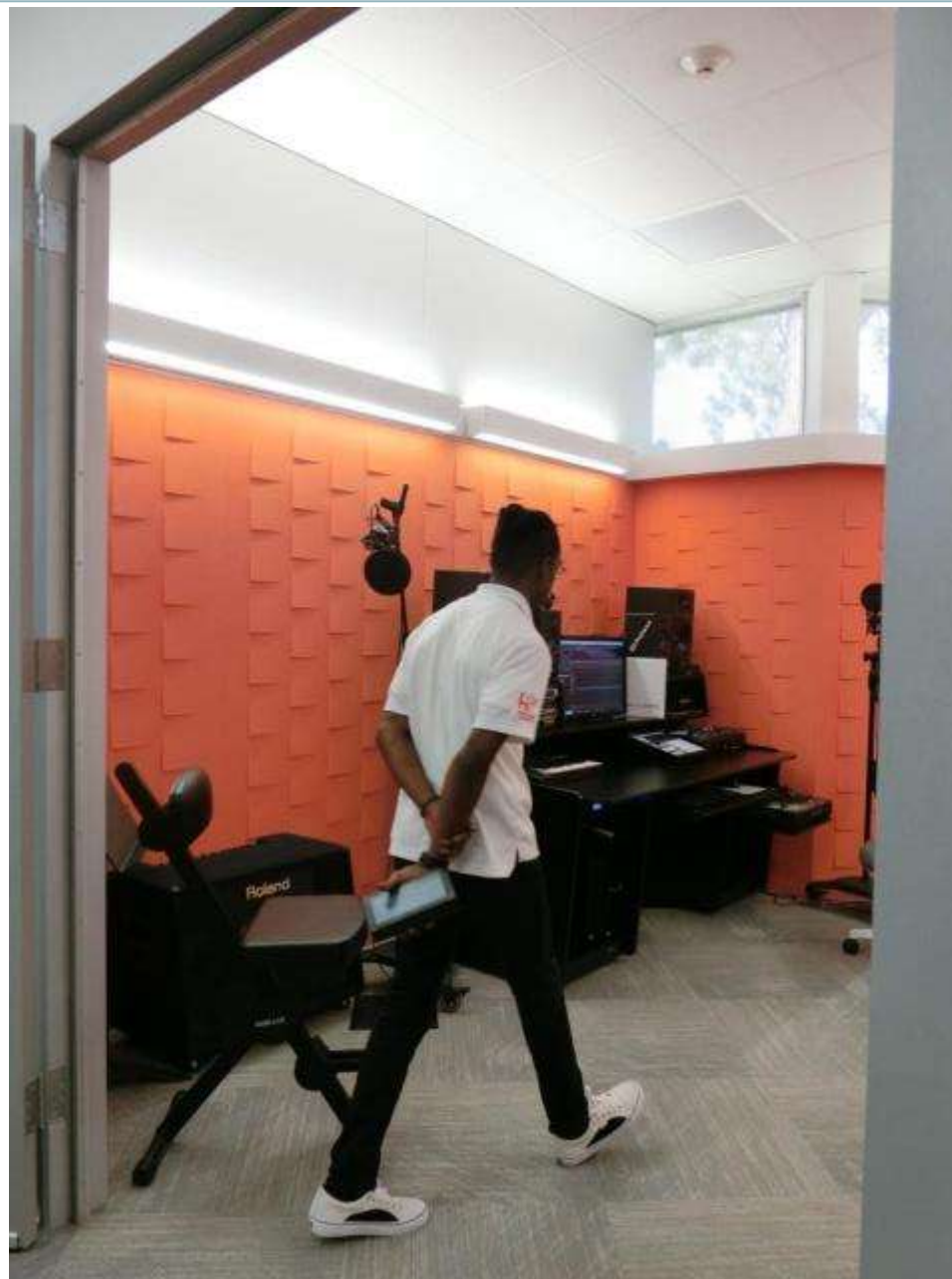
1. Collaborative space
2. Collaborative space
3. Virtual reality station
4. Kaplan Engage tablet
5. iPad Osmo
6. Green screen/teleprompter/video editing
7. 3D printer
8. Embroidery Machine

9. Photo/slide/flatbed scanner
10. Automatic button maker
11. 3D scanner
12. HP Sprout Pro - G2
13. HP Sprout Pro - G1
14. Book and document scanner
15. Laser cutter/engraver
16. Wide-format printer









テクノロジーへの平等なアクセスを保証する図書館



■ テクノロジーへの平等なアクセス

- ▶ 経済状況による、テクノロジーへのアクセスの差を解消

■ 自己表現の場としての図書館

- ▶ **Teen Tech Center** : やりたいことができる場所、失敗しても良い場所、自分を表現できる安全な場所を提供する
- ▶ **TECHLink** : 創造性、自己表現、コラボレーションのための学習空間

■ 資料以外へのアクセス

- ▶ テクノロジーへのアクセス
- ▶ デジタルリテラシーの向上
- ▶ 資格試験も・・・



今後の図書館のトレンド

ALA特別フォーラムより



次世代の図書館情報学教育と 情報スペシャリストの展望について



Sandra Hirsh氏（サンノゼ州立大学The School of Information教授）

VRやブロックチェーン、IoT技術やビッグデータなど、ディストラプティブ(disruptive)なテクノロジーが著しい発展を遂げる中、社会や地域、その他の利用者コミュニティにおける図書館の役割は確実に変わりつつある。

今回の特別フォーラムでは、こうした変化に対し情報スペシャリストとしてのライブラリアンに今後どのようなノウハウやスキルが求められ、図書館情報学教育がそのニーズにどう応えるべきかについて、テクノロジー業界にも造詣の深いHirsh氏の見解を伺った。

1. 共同学習体験



■ 図書館はもはや静寂な空間というだけではなく、共同学習空間や体験を行う場所に

▶利用者やコミュニティが専門性やリソースを共有する参加型のプラットフォームであるべきと考えられる

チャタヌーガ公共図書館

PC講座をコーニングクラスと呼び、共通のプラットフォームにログインし、各自が自分のペースで学習を進める。参加者同士が相互に教え合うというソーシャルな学習環境を提供している。

→チャタヌーガ公共図書館 webサイト <https://chattlibrary.org/>

2. 研究成果



- これまでは紙ベースで出版社が主導権を握っていたが、最近ではオンラインでのアクセス、オープンなアクセスに変わりつつある
 - ▶ 研究成果は出版され、資料として大学図書館に集約されていたが、ネットワークに分散されるようになっている
- 図書館の対応としては、
 - ▶ 研究成果を管理する手伝い
 - ▶ 研究成果を集約・保存し、出版するという研究支援
 - ▶ アルトメトリクスを用いた研究成果の評価や蔵書構築
 - ▶ オープンアクセスにより、従来のプラットフォームの価格高騰を抑える

3. コンテンツ作成を支援



■ 図書館は利用者の知的生産に能動的な役割を果たす

▶ サンノゼ公共図書館の例

サンノゼ公共図書館

Maker[Space]Shipというプロジェクトを実施。
図書館内にMaker Spaceを設置するのではなく、バスの中につくり利用者のいるところに移動させる。

→サンノゼ公共図書館

「Maker[Space]Ship」webサイト

<https://www.sjpl.org/makerspaceship>



Slime lab @ Eastridge/ Photo by San José Public Library

4. 図書館スペースの再考



■ 図書館は個人の読書とグループの学びどちらにも対応する必要がある

DOKK1

デンマーク第2の都市オーフスに、2015年に誕生した公共図書館。図書館と市民サービスの施設が一緒になったもので、設立の過程で市民やステークホルダーを巻き込んで議論し検討した。

→DOKK1 webサイト

<https://dokk1.dk/>



DOKK1/ Photo by Gardar Rurak

5. リサーチ・データ・マネジメント



- 複雑になりつつある情報環境をナビゲート手伝いをする
 - ▶ 適切なメタデータを用いて、選択、集約、保存する戦略やプロセスを提供する。

ミシガン大学図書館

Deep Blue Dataというリポジトリでは、オープンな研究データの共有とアーカイビングを手助けすることで、助成金の条件でもある共有やアーカイブ化のサポートにもつながっている。

→ミシガン大学図書館「Deep Blue Data」webサイト

<https://deepblue.lib.umich.edu/data>

6. アイデンティティ・マネジメント



■ すべての個人にIDが振られ、生活するうえで様々な個人情報 がデジタルの足跡になる。

▶アクセスポイントやネット上のエンゲージメントが増えたことにより、アイデンティティ・マネジメントは情報環境における重要なトレンドに。

サンノゼ公共図書館

バーチャル・プライバシー・ラボで、個人情報に関するトピックや個々のニーズに合ったオンラインのツールキットを作成でき、オンライン上での自らの開示情報をカスタマイズできる。

→サンノゼ公共図書館「Virtual Privacy Lab」webサイト

<https://www.sjpl.org/privacy>

トレンドは「NMC Horizon Report, 2017 Library Edition」より講師が抜粋 (<https://www.nmc.org/publication/nmc-horizon-report-2017-library-edition/>)

7. ユーザーエクスペリエンス



- **利用者が図書館とのあらゆる接点で、すばらしい体験をできるようにすることも重要である。**
 - ▶ 施設・環境・職員とのやりとりのすべてが利用者のユーザーエクスペリエンスに影響を及ぼすものとしてデザインする必要がある。



ご清聴ありがとうございました。